

りつよう

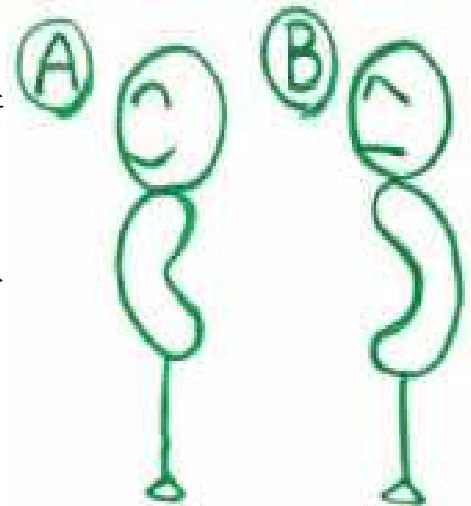
立腰教育のすすめ

明治から大正時代の教育者（哲学者）である 森 信三 先生が提唱された「立腰教育」を、鶴城中学校でも薦めたいと思います。

立腰とは、腰骨を立てることで、二足歩行を始めた人間にとって、腰骨を前に出し、お尻を突き出した姿勢は、実に自然体です。

Ⓐのような姿勢は、見た目にも美しく、内臓を圧迫することはありません。

このことは、椅子に腰掛けた時も同じです。



立腰の効果は、

- ・やる気がおこる
- ・集中力がつく
- ・持続力がつく
- ・頭がさえる
- ・勉強が楽しくなる
- ・成績も良くなる
- ・行動が俊敏になる
- ・内臓の働きがよくなり、健康的になる
- ・精神や身体のバランス感覚が鋭くなる
- ・身のこなしや振る舞いが美しくなる



ということです。

立腰教育で学力の向上につなげていきましょう。

（校長 船津 巧）